
3. 文京区の歴史的建物を町づくりの核として保存活用する

文京たてもの応援団
(東京都文京区)

I. 活動の背景

安田邸の保存をきっかけにできたこの会は、1998年に一般公開されるのにもない、この建物の今後の保護活動事業を側面よりサポートし、更に、この地域にある歴史的建物を安田邸と同様に調査し、今後の利用や活用の方法を住む人と共に考え、多様な提案をしていくことを目的としている。

また、区にある様々な建物を、会員だけではなく一般の方に知らせる事も会の目的の一つである。

II. 活動の内容

(1) 『たてもの応援団通信』に関して

1996年4月にスタートしたこの会は、その年の5月より毎月1回例会を開いている。この会の話し合いで決定した事や連絡事項(見学会開催等)を次の例会の約2週間前までに『たてもの応援団通信』として全会員に発送している。これにより出席できない会員にも、現在の会の内容を把握出来るようにしている。

現在(3月末まで)に、21号発行している。

(2) 歴史的建築の調査

1997年4月に大正12年に建てられた数寄屋建築の山脇邸の調査及び見学を3回行った。山脇様より今までの経過や、今後の建物の活用方法などを伺う。また、一部土間部分の壁の崩れや屋根の雨もりがあるという事で、工務店を紹介し補修のアドバイスをした。



建物調査

1997年5月には、江戸時代の建て物であると言われている通称「足軽長屋」の調査を行った。その後、この建て物が文化財として保存出来るかどうか専門家に調査を依頼する。現在は江戸東京たてものに収蔵できるかを検討中である。1997年8月には、安田邸の売却されて9月に取り壊される西側住宅棟と、門の脇にあった「伴待ち」の調査を行う。

(3) 税の勉強会及び見学会

①勉強会

りを持ちたいと考えている。

今年度、計画予定であった安田邸でのスケッチ会・作法教室等が、安田さんの新居への引っ越しが伸びたため実行出来ずに至った。今年（1998年）6月以降は引っ越しがすべて完了するので、引き続き上記内容を今年度実行したいと考えている。

今後の課題だが、一年前安田邸の保存という大きな課題に向かって会員が一丸となり取り組んで来たときと比べると、各自の関わり方が多少沈滞気味の一年だったように思う。今後は、パンフレットを有効に活用し講習会や見学会など誰でも気軽に参加できる会を企画し、地域と密着した行動を行っていきたいと思う。